

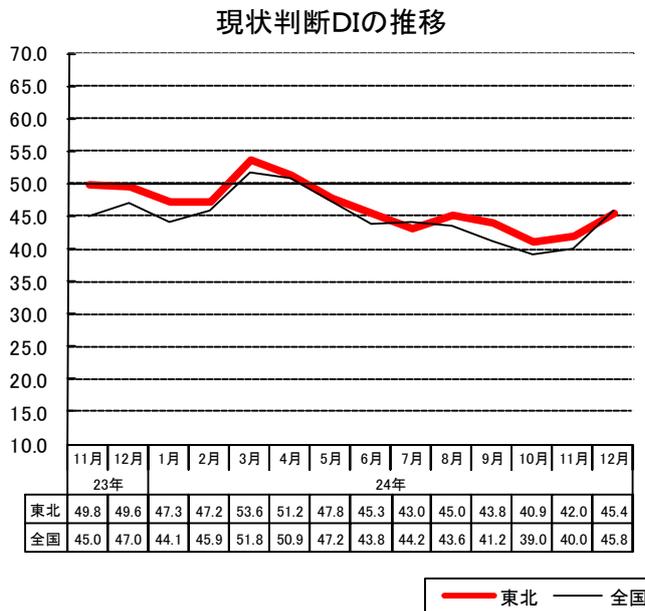
報道機関各位

公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 24 年 12 月東北分
 (新潟を含む東北 7 県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：高橋宏明・東北電力㈱取締役会長）は、このほど、「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 24 年 12 月東北分（新潟を含む東北 7 県）」についてとりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断 DI「45.4」（+3.4）は、2 か月連続で前月を上回ったものの、景気判断の基準となる 50 を 8 か月連続で下回った。



・家計動向…寒波の到来により、防寒衣料をはじめとした冬物商材の動きが良い。DI は「45.7」（+4.6）と 2 か月連続で前月を上回ったものの、基準値 50 を 8 か月連続で下回った。

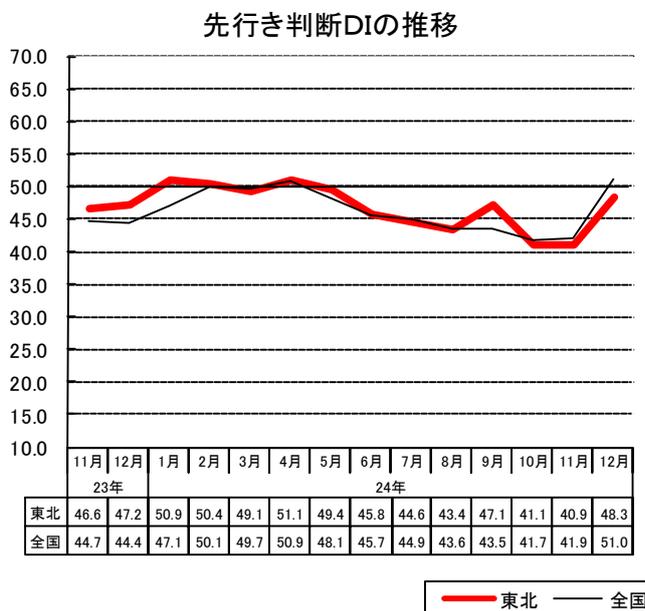
・企業動向…受注や販売環境に厳しい状況がみられる。DI は「43.1」（+0.6）と 2 か月連続で前月を上回ったものの、基準値 50 を 9 か月連続で下回った。

・雇用動向…DI は「47.7」（+1.1）と 4 か月ぶりに前月を上回ったものの、基準値 50 を 3 か月連続で下回った。

- ・プラスのキーワード：冬物
- ・マイナスのキーワード：低価格志向、買い控え

2. 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

先行き判断 DI「48.3」（+7.4）は、3 か月ぶりに前月を上回ったものの、景気判断の基準となる 50 を 8 か月連続で下回った。



・家計動向…消費者の低価格志向や買い控え傾向が続くなか、春先の需要(衣料、飲食)と新政権への期待感がみられる。DI は「47.4」（+8.2）と 3 か月ぶりに前月を上回ったものの、基準値 50 を 32 か月連続で下回った。

・企業動向…受注や販売環境が厳しいなか、為替の円安への動きから、輸出の改善が見込まれる。DI は「50.0」（+5.0）と 2 か月連続で前月を上回り、基準値 50 を 4 か月ぶりに回復した。

・雇用動向…DI は「51.1」（+6.8）と 4 か月ぶりに前月を上回り、基準値 50 を 4 か月ぶりに上回った。

- ・プラスのキーワード：新政権、為替・株式
- ・マイナスのキーワード：低価格志向、買い控え

<参 考>

■D I の推移※

(1) 現状判断 (方向性) D I

	23年		24年											
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
東北現状	49.8	49.6	47.3	47.2	53.6	51.2	47.8	45.3	43.0	45.0	43.8	40.9	42.0	45.4
家計動向関連	48.4	46.7	43.9	43.0	52.3	50.2	47.0	42.7	41.0	43.4	42.1	41.0	41.1	45.7
企業動向関連	50.6	51.3	50.0	51.2	51.3	47.5	46.9	48.8	46.3	46.3	45.1	37.2	42.5	43.1
雇用関連(参考)	57.1	65.5	64.3	66.7	66.7	64.8	54.5	55.7	50.0	53.4	52.3	47.7	46.6	47.7

(2) 先行き判断D I

	23年		24年											
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
東北先行き	46.6	47.2	50.9	50.4	49.1	51.1	49.4	45.8	44.6	43.4	47.1	41.1	40.9	48.3
家計動向関連	45.7	44.3	48.4	48.2	46.9	49.5	49.3	43.8	43.3	40.2	46.2	40.2	39.2	47.4
企業動向関連	46.3	51.3	54.3	54.9	51.3	55.6	48.8	49.4	48.8	50.6	49.4	42.1	45.0	50.0
雇用関連(参考)	53.6	58.3	60.7	56.0	59.5	53.4	51.1	52.3	45.5	51.1	48.9	44.3	44.3	51.1

※D I (Diffusion Index) について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 平成 24 年 12 月 25 日～31 日

回答者数 206/210 名、回答率 98.1%(全国 1,831/2,050 名、89.3%)

以上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター (担当: 佐藤(健))

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL : 022-222-3394 FAX : 022-222-3395

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「良くなっている」

（寝具販売店）…早々と訪れた極寒の影響と震災の影響で買い控えをしていた客が落ち着きを取り戻し、購買意欲も増してきている。仮設住宅に住んでいる人も復興支援で支給された寝具では寒いらしく、買換えをする人も多くなっている。

○「やや良くなっている」

（乗用車販売店）…エコカー補助金が終了した影響で新車の販売に勢いがなくなったが、新型車効果で少し盛り返している。しかし低燃費車、軽自動車中心の商談が多く、売上の減少傾向は変わらない。

（通信会社）…年末に向けて新規加入者が若干増えている。キャンペーンの効果と年末までに加入し、テレビやインターネットのサービスを楽しみたいという、駆け込み客の申込が増えてきている。

（住宅販売会社）…停滞していた大型物件が動き始め、受注確約がとれている。

（経営コンサルタント）…為替が円安に振れている関係で明るい見通しを持つ中小製造業が散見される。

（新聞社〔求人広告〕）…選挙関連広告で、今年度の前年比マイナス分を大分カバーできている。

○「変わらない」

（商店街）…12月になり、近年体験したことがないような寒波、積雪に見舞われ、暖房器具、衣料、防寒靴、除雪用品が例年より早く動き始めたが、寒波のせいで客足が鈍くなっており、ややマイナスの状況である。

（カメラ販売店）…高額商品及び低価格商品の販売量は横ばいで推移しているものの、来客数は減少傾向である。

（百貨店）…例年にない寒さが一気にきて、防寒物の動きが良くなっている。ギフト需要は単価が低いがコンスタントな動きである。天候により来客数が大きく左右される状況にある。

（スーパー）…12月の平均1品単価は前年比100%を超えている。来客数も上期ほどではないが戻ってきている。寒さも手伝い農産品の相場高もあつたが、食料品の動きは良くなっている。鍋物などではこれまでのオーソドックスな食材の他に洋食系の食材も売れている。特販促に大きな対策の変更もないのに、政府経済政策への期待感からか停滞からやや戻ってきている。

（コンビニ）…客単価前年比が100%を超え、売上が戻ってきている。降雪と寒さの影響でホットドリンクの販売数が前年より良い。

（コンビニ）…前半は総選挙の影響からか来客数が減って大変苦戦した。選挙終了以降は徐々に客足も戻り始め、回復傾向にあるものの、全体的にはやや悪いというところである。

（衣料品専門店）…例年より早めの冬物バーゲンを開始したが、コートなどの防寒衣料の動きは良く単価は上がっているものの、来客数はあまり増えず、トータルで売上は前年並みとなっている。

（家電量販店）…家電製品のなかでも暖房商品は季節的に寒くなってきているので好調に推移している。石油ファンヒーターは前年並みであり、エアコンは前年よりも多少落ちているが、全体的には悪くない。ただ、テレビは単価が前年比3割ダウンと下がっており、販売量も下がっているなど、引き続き持ち直しが見られない。そして、冷蔵庫や洗濯機といった白物家電は前年並みで、落ち込んだ分をカバーしきれていない。

（酒類専門店）…今月は選挙の影響が大きいことに加え、公務員や県庁等、公共関係の賞与時期と重なってしまい、飲食店の来客数が目に見えて減っている。量販店などでパック等の商材が売れているものの全体的に低調で、年末の最後の売上に期待している。

（都市型ホテル）…宴会、宿泊、レストラン各部門とも大幅な落ち込みはないが、前年まで好調だったおせちの予約数が前年を1割程下回っている。

(農林水産業) …農業者戸別所得補償制度の影響によるそばの作付面積の増大で、玄そばの価格が大幅に下落している。

(木材木製品製造業) …住宅の着工が順調であるが、価格の改善が進まない。

(建設業) …例年だと冬期は受注が一息つくのだが、今年は期間に関係なくリフォーム工事の受注がある。

(人材派遣会社) …急速に派遣依頼が縮小する一方で、直接雇用への人材紹介依頼が増えている。しかし、市場ニーズと求人ニーズにかい離があるためにマッチングするケースはまだまだ少ない。双方にらみ合うままで、人材市場は硬直化しているように見える。

(職業安定所) …復興需要を背景に求人倍率は改善を続けているが、求人倍率の改善ほど景気が上向きと実感する場面は少ない。

○「やや悪くなっている」

(スーパー) …10月以降、同業及び異業種競合店の出店が相次ぎ、商圈内の客の流れが変わってきている。

また、客を取り戻そうと既存の競合店もチラシ価格を下げ競合店対策を実施している。結果、以前にも増して、買上点数、客単価の減少、買いまわり傾向が強まってきている。

(ショッピングセンター) …降雪による道路状況の悪化により、車での来客数が減少している。

(高級レストラン) …来客数は横ばいながら、落としていく単価は実にシビアである。

(都市型ホテル) …被災地特需で前年夏以降、宿泊、宴会件数共に順調に推移してきたが、今月から来客数、宴会数共に前年を下回り、来月以降の予約件数も前年同時期に比べ減少し始めている。

(テーマパーク) …秋の旅行シーズンが終わり、年末年始に向け、レジャーに対する出費を抑える傾向にあり、単価が下がり傾向にある。

(輸送業) …大手荷主の各社より値引きの協力を要請され、現状からみてやむを得ず応じざるを得ない状況である。これが当地区内の物流業者も同様であり、明るい展望が開けない。

(飲食料品卸売業) …総選挙の影響により、料飲店での需要や酒類歳暮の動きが悪く、歳末商戦の出鼻を挫かれた感がある。後半、持ち直しつつあるものの、前半の苦戦を取り戻すに至っていない。

○「悪くなっている」

(コピーサービス業) …受注の絶対量が減っている状況である。店頭に来客数も減少しており、小口の受注量も減ってきている。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

(衣料品専門店) …前年の震災の特需的なニーズというのはなかなか厳しいが、3～4月にかけての東北地方の就職率というのはあまり悪くないのではないかとみているので、そういった客が動くのではないかと。

2～4月はそこそこの実績を残せるのではないかと予測している。

(乗用車販売店) …新型車効果があり販売が伸びていることに加え、政権交代に期待を持っている。

(広告業協会) …今後の出稿も3月ごろまで引き合いがあり、好調を持続するとみている。大手広告主がマスメディアの広告を再び見直してきたことに加え、新政権への期待で出稿を増やしてきているようである。

(司法書士) …消費税増税前の駆け込み需要としての住宅着工件数が増加しつつある。

(人材派遣会社) …既に1～3月までの年度替り時に移籍や引き抜きの話が多く出ている。派遣雇用枠が埋まると考えればチャンスは減るが、直接雇用に変更することで、取引関係が強化、評価され、潜在的な採用ニーズを聞くケースも多くなってきている。

○「変わらない」

- (百貨店) …冬物の商売はクリアランスセールなどほぼ前年並みの期間となり、横ばいとみる。今後の消費動向は新政権からの経済政策等の発信が消費者に浸透していく来年3月ごろに店頭の新物展開と一緒に多少上向きになると予測している。
- (スーパー) …政権が変わったものの、良くも悪くも政策の効果が現れるには時間がかかるため、数か月は特に今の状況は変わらない。消費は光熱費の値上げが進み、ますます食費は切り詰められ、安価品へ需要が流れ、小売業の経営は厳しい状況が続くと予想される。
- (コンビニ) …期末までの競合他社の出店情報も多く、業界全体での売上拡大はみえるが、個店レベルの収益拡大の見通しは厳しい。
- (住関連専門店) …一服感のあった震災需要の新築等の建物が、ここにきてまた少し出てきている。そういったこともあり、我々の商品もいくらかは来年になっても販売は好調を維持できるのではないかとの期待が持てる。
- (都市型ホテル) …3月の宴会部門は通年でも売上の期待できる月だが、送別会、卒業式で学校関係を中心に週末はほぼ満室である。しかし、それ以外の業種の動きは鈍い。
- (通信会社) …一時的な回復は期待できても、本質の景気回復に向かう材料に乏しい。
- (遊園地) …学校、団体向けに他県の旅行代理店を訪問してきた。震災後の行き先変更がまだ続くところもあるが、戻ってくるというところも少なくなく、一定の手ごたえはあった。
- (美容室) …今までの流れからすると、施術や必要なパーマなど基本的なメニューだけで、プラスアルファという部分に結び付かない状況がまだしばらく続くとみている。
- (住宅販売会社) …受注は順調だが、工事金額が大きい大型物件受注にはまだ時間を要する。
- (一般機械器具製造業) …自動車部品を取り巻く環境は現状と大きく変わることはないが、為替水準がこのところ円安に動いているので、輸出環境はやや改善されるとみている。
- (輸送業) …国際線が増便しておらず、取扱貨物量にも伸びが認められない。
- (職業安定所) …求人は引き続き好調に推移するものと考えているが、一方で求職者の減少も進んでおり、求職者の活発な応募については懸念される状況になってきている。

○「やや悪くなる」

- (スーパー) …競合の状況及び店舗の販売量の状況がやや悪くなっているため、今後についても悪くなると予想される。

○「悪くなる」

- (一般レストラン) …例年、年明けはがくっと落ちる傾向にあるので、今回12月にある程度吐き出した分、蓄えなければならぬという動きになり、財布のひもは固くなると予想される。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以 上